

印西市安全で安心な まちづくり推進協議 会 資 料	近年における自動車窃盗の手口	令和6年2月7日 市民活動推進課
<p>近年の自動車盗難に関する手口は、電子制御化が進む新型車の弱点について巧妙な手口が多くなっています。それら手口を知っていることも大事ですが、肝心の対策も十分に理解しておく必要があります。</p>		
<p>【手口と対策】</p>		
<p>その1：コードグラバー</p>		
<p>キーレスキー操作で発する電波を遠方からGrab(掴んで)ドアを解錠する。ドアロック機能を盗み取る手口がコードグラバー。ドアは解除できてもエンジンまでは始動できないので、車上狙いの悪用される場合が多い。</p>		
<p>※ 対策</p>		
<p>車両の中に現金等、貴重品はおかないこと</p>		
<p>その2：リレーアタック</p>		
<p>スマートキーから常時発信されている微弱電波を傍受し、窃盗犯仲間にリレー形式で増幅送信して、ドアの開閉からエンジン始動までを完遂する。</p>		
<p>数メートル範囲内でしか飛ばない微弱電波をキャッチすることは困難でもある。</p>		
<p>※ 対策</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・ スマートキーを玄関先等に置かない。 ・ スマートキーを金属缶に保管し、電波をシャットアウトする。 ・ ハンドルロックやタイヤロックといった物理的な対策が有効である。 		
<p>その3：CAN(キャン)インバーダー</p>		
<p>車の制御をつかさどる「CAN」という通信システムに侵入して、「乗っ取る(侵略する)」ことから「CAN インバーダー」と呼ばれている。</p>		
<p>車の頭脳にあたる ECU(イーシーユー)「エンジンコントロールユニット」から車の隅々まで針目暮らされているのが「CAN」という通信システム。専用機器を使って、この「CAN」にアクセスすることで、ドア解錠、エンジン始動が容易にできる。</p>		
<p>スマートキーの微弱電波すら不要である。</p>		
<p>※ 対策</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・ ハンドルロックやタイヤロックといった物理的な対策が有効である。 ・ 窃盗グループが『盗みにくい』『盗むのに時間がかかる』と思わせる対策が効果的であり、対策は一つだけでなく二つ三つと複数講じること。 		